

中央区の活性化や
まちづくりについて、
熊谷市長と種々
意見交換を行いました。



本年も皆さまのご期待に
全力でお応えして
まいります。
ご意見やご要望を
お寄せください。

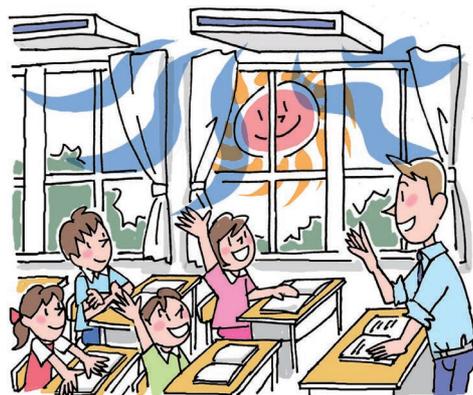


市立小・中学校の普通教室へのエアコン整備に向けて

千葉市では2020年の夏前を目標に、全市立小・中学校の普通教室等へのエアコン整備に向け取り組みを進めています。

整備する学校数は、165校で教室数は約2,700教室です。整備手法としては、国において臨時特例交付金が創設されたことから、交付金を活用するため市の直接施工方式を基本とし、直接施工方式のみでは学校数が多く対応が難しいため、併せてリース方式による整備も予定されています。

整備に必要な費用は、総額約93億円と見込まれており、その内の直接施工方式分の実施設計費(1億2,400万円)は、昨年の12月議会において一般会計補正予算に計上されました。また、今年の夏にはエアコンの整備が間に合わないため、**熱中症予防対策として、各学校に1~3台の冷水機と、体育館用として大型扇風機2~3台の整備も計画**されており、その費用(8,100万円)も補正予算に計上されました。



トピックス

国道357「湾岸蘇我地区」の6車線化を加速へ!

石井国交省が視察

3年前、市役所前を含む「湾岸千葉地区」のアンダーパス道路が整備されましたが、一昨年にはその延長となる「湾岸蘇我地区」の6車線化が正式決定致しました。(中央区問屋町のポートアリーナ前から塩田町の蘇我陸橋南までの約5キロが対象区間です。)改良によって旅行速度が1.5倍増、死傷事故が1割減と試算されております。

昨年11月、石井国交省が視察に訪れた際には、地元の議員として「少しでも前倒しされる」ようお願い致しました。



東京オリンピック・パラリンピックまであと1年

「ボッチャ」の普及に向けて - 共生社会の土台づくり -

今や、誰もが楽しめる共生スポーツの代表例とも言われるボッチャ。皆さまはご存知でしょうか？ ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目にもなっております。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

千葉市でも、昨年7月に本庁舎の1階に簡易コートが設置された他、スポーツ推進委員への講習会も実施されてきました。私自身も、本市でただ一人、県の指定

強化選手に選ばれた地元の選手との出会いをきっかけに、遅ればせながらボッチャのファンになりつつあります。町内自治会に社協地区部会、障がい者施設に公民館と、ボッチャの地域クラブを運営する代表の方と各団体のキーマンを引き合わせるなど、微力ながらボッチャの普及に動いております。

昨年の私の議会質問では「2020年にボッチャの市民大会を開催することを検討している。今後、普及活動を関係機関と連携し進めていく。」との答弁を得ました。

オリパラの閉会后、障がい者と一緒になって大人から子供まで、市内の至る所でボッチャが盛んに行われている…そんな共生社会の一コマを想像しながら、今後も活動を続けていきたいと思っております。



JR蘇我駅にベンチが整備されました - 社会実験 -

地域の皆さまから頂いたお声をもとに、議会質問で駅前広場やバス停、道路など、まち全体へのベンチ整備を求めてきました。昨年9月の議会答弁では、「**今年度末を目標に、駅前広場と道路へのベンチ設置計画を策定する予定**である。」

「駅前広場については、**JR蘇我駅の駅前広場で社会実験を行い、最適な設置位置の検証を行った上で計画に反映していく。**」

「バス停については、バス事業者や自治会への整備に関する**支援制度を検討していく。**」

「道路については、休憩需要や歩道の有効幅員を考慮したうえで、**順次整備していく。**」

との答弁がありました。

その結果、去る12月18日、JR蘇我駅にベンチが整備されました。なお、社会実験のため設置位置の検証後、再配置される場合があります。全市域へのベンチ整備について、今後の展開にご期待下さい。



市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声をお聞かせください。

千葉市議会議員

酒井 伸二

〒260-0822 千葉市中央区蘇我3-5-14

Tel/Fax.043-268-7120

ホームページは「酒井伸二」で検索ください! <http://www.facebook.com/sakai.cc> e-mail:sakai_chiba@ko-mail.jp

